

事業の目的・概要

- ① セメント焼成工程で発生するCO₂を、コンクリート由来の産業廃棄物に固定化させるという**地域内循環**を構築し、さらに新たな技術を用いて引き渡しまでに**CO₂固定量を最大化**したCARBON POOL(CP) コンクリートを開発する。CPコンクリートの施工性や耐久性を確保し、**舗装のみならず、建築・土木構造物にも実装**する。
- ② LCCO₂・LCA・LCCの統合評価システムを構築することにより**ESG金融の促進**や**カーボンプライシングをサポート**し、脱炭素社会の実現に貢献する。

事業イメージ

✔ LCCO₂・LCA・LCC 統合評価設計システムの構築

RI CRIEPI (一財) 電力中央研究所
— まとめ及びLCCO₂評価手法の開発 —

東京大学
LCCO₂・LCA・LCC統合評価設計システム
および社会実装シナリオの検討

東京都立大学
品質評価・品質管理手法の開発

国立環境研究所
LCA (材料資源) 評価手法の開発

明星大学
LCC 評価手法の開発

✔ CARBON POOLコンクリートの開発と実装

根幹技術の開発

- (株) 安藤ハザマ
- 三和建業(株)
- 白石建設(有)
- ヒロセホールディングス(株)
- トピー工業(株)
- KYC 光洋機械産業(株)
- GP (株)グロスパートナーズ
- 丸壽産業(株)

地域内環境技術の開発

- (株) 内山アドバンス
- 大阪兵庫生コンクリート工業組合
- 灰孝小野田レミコン(株)

社会実装に向けた開発

舗装

- 大成ロテック(株)
- 日本道路(株)
- (株) 佐藤渡辺

構造物

- (株) 安藤ハザマ
- 青木あすなろ建設(株)
- (株) 浅沼組

